

精神科専門研修プログラム

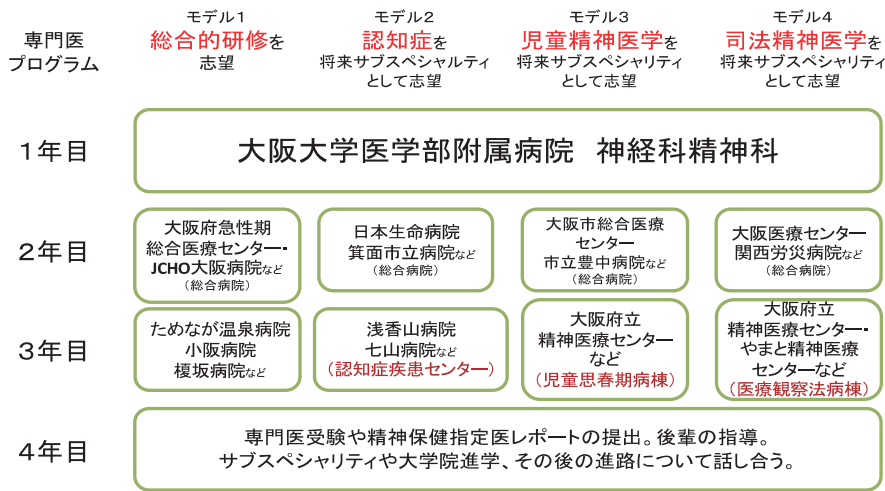
(1) プログラムの全体像

日本精神神経学会の基準に従った形で、主に大阪府下の33病院と連携して専門医を育成するプログラムとなっています。できるだけ効率的に日本精神神経学会専門医および精神保健福祉法に規定された精神保健指定医を取得することを第一の目的としています。それぞれの資格取得に必要な研修目標を全て短期間に網羅するために、大学病院（1年目）、総合病院（2年目）、単科精神科病院（3年目）をローテーションすることが一般的なコースです（次ページ図参照）。ローテーションする病院は全て日本精神神経学会の認定研修施設であり、精神科領域でもバリエーションがあるので、可能な限り各人の希望に対応します。コース終了後は、関連施設での更なる臨床実践についてご相談に応じます。大学院進学はコース途中でも相談に応じます。

(2) プログラムの概要

大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目 的	受入人数	期間
大阪大学医学部附属病院	神経科・精神科	精神医学	17名	精神医学の基礎研修 特に児童・思春期精神障害及び症状性・器質性精神障害の経験等	10名	1年
総合病院 ①大阪急性期・総合医療センター ②大阪市立総合医療センター ③大阪医療センター ④箕面市立病院 ⑤市立豊中病院 ⑥住友病院 ⑦日本生命病院 ⑧地域医療機能推進機構大阪病院 ⑨関西労災病院 ⑩砂川市立病院 ⑪高知大学医学部附属病院 ⑫第二大阪警察病院	精神科	精神医学	各 1～2名	精神医学の基礎研修 リエゾン・コンサルテーション精神医療の経験等	各 1～2名	1年 程度
単科精神科病院 ⑬大阪府立精神医療センター ⑭浅香山病院 ⑮榎坂病院 ⑯清風会茨木病院 ⑰箕面神経サナトリウム ⑱ためなが温泉病院 ⑲やまと精神医療センター ⑳阪和いずみ病院 ㉑和泉丘病院 ㉒大阪さやま病院 ㉓小阪病院 ㉔国分病院 ㉕美原病院 ㉖水間病院 ㉗吉村病院 ㉘七山病院 ㉙東加古川病院 ㉚仁明会病院 ㉛伊丹天神川病院 ㉜ねや川サナトリウム ㉝さわ病院	精神科	精神医学	各 1～2名	精神医学の基礎研修 統合失調症、躁うつ病、中毒性精神障害、認知症などの措置あるいは医療保護入院の経験 精神科リハビリテーション、地域医療の経験 心神喪失者医療観察法の経験（やまと精神医療センター、府立精神医療センター） 等	各 1～2名	1年 程度
				受入人数	10名	

サブスペシャリティを意識したローテートモデル

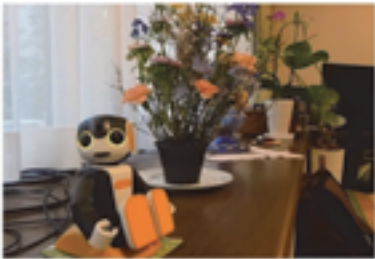


33施設の特徴的な研修連携施設があります。

上記モデル以外にも多様な研修プログラムがあり得ます。
例：精神腫瘍学を志望の方は大阪国際がんセンターなど
中毒・アルコール精神病を志望の方は阪和いずみ病院など

基幹病院、総合病院、単科精神病院を軸に、専攻医のニーズに応じて多様な研修が可能です。専門性の高い経験をさまざまに積むために、半年程度のローテートも考慮します。希望があれば大学院進学も可能です。

自己紹介



ロボホン



正式名称は
RoBoHon



好きなことは、皆と
お話しすること。



実は今、病院でも
活躍しているんだ。



今日は僕が神経科・
精神科の紹介をし
ていくね。



ICT 機器を用いた高齢患者の在宅生活の
見守りを臨床研究しています。



毎週のカンファレンスで患者情報を共有し、
精神科臨床の体系的な知識を身につけます。

（３）コースの実績

大阪大学関連施設の精神神経学会認定研修施設は多数あり、今までに数多くの精神保健指定医および精神科専門医を輩出してきました。

（４）コースの指導状況

当科は、認知症の専門的な診断、統合失調症およびうつ病などの難治症例、身体合併症例など幅広い領域に対応しています。専攻医は、指導教官の指導を受けながら、看護、心理、リハビリテーションの各領域とチームを組み、各種精神疾患に対し生物学的検査・心理検査を行い、適切な診断のうえで、薬物療法、精神療法、修正型電気痙攣療法、作業療法などの治療を柔軟に組み合わせ最善の治療を行うことになります。研修の過程でほとんどの精神疾患の診断と治療についての基礎的な、そして実践的な知識を身につけることが可能です。指導には、精神保健指定医および日本精神神経学会指導医が責任をもって指導に当たっています。特に、万遍なく各疾患群が担当できるように配慮し、目標とする資格認定ができるだけスムーズにいくようにしております。

また、近畿圏の主要な総合病院を連携施設として有しており、身体合併症を有する精神疾患およびリエゾン精神医学を中心とした精神医療の研鑽を行うことが可能です。さらに、大阪府内の主要単科精神病院を連携施設として有しており、地域の精神医療、司法精神医学、児童精神医療、地域型認知症センターにおける精神科臨床などの研鑽を行うことが可能です。専攻医はこれらの施設をローテートしながら、臨床精神科医として幅広い能力を向上させつつ、専門医を獲得することが可能です。

精神医学は脳神経科学の進歩に伴い、生物学的理解が著しく進歩したと考えられますが、専攻医に対しては例えば認知症の診断・治療の進歩、精神疾患における分子生物学的理解の進歩などを含めた新しい知識の共有に務めています。さらに、心理学的、社会的な次元、実存的・哲学的な人間学的問題に対する理解を深化させるべく努めています。結果として、乳幼児から児童・思春期、壮年期、老年期に至る人間のライフステージすべてにおいて包括的な理解を深め、精神科医として質の高い臨床能力を培っていただきたいと考えています。



作業療法

(5) 専門医の取得等

資格名(学会等)	精神保健指定医 (厚生労働省)
資格要件	精神保健福祉法の規定による
【学会の連携等の概要】 当院は医療保護入院、措置入院を受け入れており、資格取得可能な病院であり、関連する単科精神病院も同様です	

資格名(学会等)	精神科専門医 (日本精神神経学会)
資格要件	日本精神神経学会専門医制度の規定による
【学会の連携等の概要】 当大学病院および関連施設は全て学会認定施設である	



問い合わせ先

■ 大阪大学医学部附属病院 神経科・精神科

担当者 鐘本 英輝

✉ ikyokucho@psy.med.osaka-u.ac.jp

診療科ホームページ : <https://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/psy/>

